

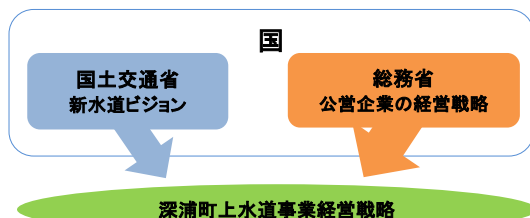
【概要版】

深浦町 上水道事業 「経営戦略」

1. 策定趣旨と位置づけ

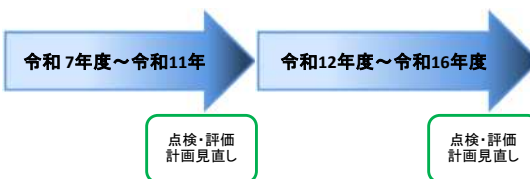
「深浦町上水道事業経営戦略」とは、深浦町上水道事業が目指す中・長期的な事業運営の方針を示したものです。

また、国土交通省「新水道ビジョン」が示す水道の理想像「安全な水道」・「強靱な水道」・「水道サービスの持続」さらには、総務省が策定ならびに議会・住民への公表を求めている「公営企業の経営戦略」の内容を併せ持つものとして策定しました。



2. 計画期間

令和7年度から令和16年度までの10年間とします。概ね5年毎に事業の進捗状況について点検・評価を行い計画を見直します。



3. 水道事業を取り巻く環境

人口減少社会の到来

深浦町の人口推計

平成26年度 2014（実績）	9,073 人
令和6年度 2024（実績）	6,668 人
令和16年度 2034（予測）	4,616 人

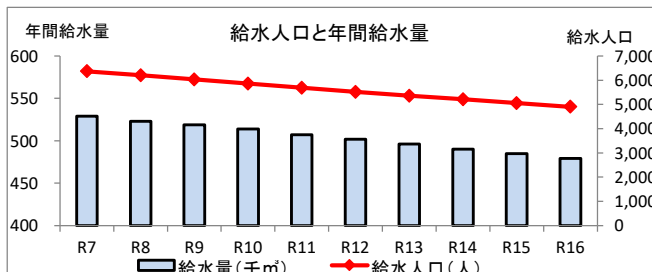
※国立社会保障・人口問題研究所による推計参照

4. 現状と課題

1) 水需要の状況

水需要は人口減少等により年々減少しており、今後もこの傾向は継続するものと予測されます。

水需要の減少は、給水収益の減少や施設稼働率の低下につながります。



2) 水道施設の概況

水道施設・設備	第一北金ヶ沢浄水場、第二北金ヶ沢浄水場 岩坂浄水場、追良瀬浄水場、松原浄水場 吾妻沢浄水場、苗代沢浄水場、岩崎浄水場 (※配水池を除く)
水道管路 (布設経過)	総延長L=139.98km 40年以上 L= 2.11km 39年未満 L=137.87km

3) 水道施設の老朽化

町の水道施設は、昭和31年の創設から昭和年代に建設されたものが多く、アセットマネジメント（資産管理）試算の結果、40年後には、約半数の固定資産が老朽化資産となってしまいます。

本計画期間内（R7～R16）において、施設等については計画的に機械・電気設備の補修・更新および耐震化を進めております。管路についても老朽管の更新・管路の耐震化を進めておりますが、今後整備すべき老朽管が増えることが予測されるため、ペースを上げた将来の更新計画策定は急務の課題となっています。

5. 将来像と目標

基本理念

「安心して確実な水道サービスを継続して町民に届けます。」

安全

強靱

持続

1) 安全 【安全で安心な水道水の確保】

- ・水源の安全管理の実施
- ・原水及び浄水水質の確実な監視の継続
- ・必要水量の安定的な確保

2) 強靱 【安定した給水の確保】

- ・老朽化施設の効率的な更新の実施
- ・水道施設の耐震化の推進
- ・危機管理マニュアルに基づく計画的な訓練等の実施

3) 持続 【効率的な事業経営の実現】

- ・事業経営基盤の強化
- ・維持管理コストの削減
- ・人材の育成と技術の継承

6. 財政収支の見通し

将来の更新需要に対応するため、内部留保資金や建設改良積立金の運用・充実など、中長期的にわたる投資に見合う資金を確保し、更には必要に応じて料金改定等も視野に入れ、的確に財政計画を見直し、経営面においても効率的な事業運営を進めて行きます。

○企業債残高の推移

R6	R11	R16
2,067(百万円)	1,734(百万円)	1,516(百万円)

7. 進捗管理

「安全・快適な水を安定的に供給し、利用者が信頼し続ける水道事業」を目指すため、PDCAサイクルにて、本計画の検証・分析・見直しを適宜行っています。

